

地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業の実施について（第２ステージ：令和５年度～令和６年度）

事業の目的

当事業は、就職氷河期に就職期を迎えた方で、本人の意に反して非正規雇用で働いている方の正規雇用を支援するとともに、県内企業の人手不足を解消することなどを目的として実施するものである。

事業内容

・不本意非正規労働者等の正規雇用化、企業の人材不足の解消を目的として、ハローワークと併設の施設である埼玉しごとセンターに就職氷河期コーナーを設置し、各種セミナー、キャリアカウンセリングを実施。

→K P I ④

・若者自立支援センター埼玉において、職業理解を図ることなどを目的として有償型の就業体験を実施。

→K P I ⑤

重要業績評価指標（K P I）

（１）K P I の設定

K P I ④ 正社員雇用就職者数

K P I ⑤ 有償型就業体験参加者のうち非正規雇用就職者数

（２）K P I の計画目標及び実績

	令和５年度 (一年目)	令和６年度 (二年目)	計画中の増加分の 累計
K P I ④	3 0 0	6 0 0	9 0 0
K P I ④実績	3 9 5	4 6 0	8 5 5
K P I ⑤	1 0	1 0	2 0
K P I ⑤実績	1 7	2 4	4 1

（３）K P I の計画目標の達成及び未達成の理由（令和６年度）

K P I ④

- ・ マッチングイベントなどを数多く実施する埼玉県企業人材サポートデスクが実施するイベントへの誘導や、当該イベントに参加した求職者を就職氷河期コーナーの支援につなげるなど、事業間の連携強化を図った結果、支援対象者を増やすことができた
- ・ 支援対象者へキャリアカウンセリングやセミナー等の支援を行った結果、昨年度の正規雇用就職者数を大きく超えることができたが、目標値には届かなかった。

K P I ⑤

- ・ 一般企業等で行う有償型職業体験への参加により、自己肯定感・自己理解・職業理解を高めることができた。併せて担当のコンサルタントが、働きぶりに対するフィードバック等の一貫した支援を行うことで就職につなげることができた。

（４）効果検証（令和６年度）

令和７年７月３０日（水）に開催された埼玉中高年世代活躍応援プロジェクト協議会にて、協議会構成員の方々による達成状況の検証及び審議をいただいた。